

下妻市

テーマ1:下妻市の農業



※下妻市は東京から60km圏内

◎下妻市について (R4.6.1 現在)

[面積] 80.88 km²

[人口] 41,917人 (男 21,174人/女20,743人)

[人口密度] 1km 当たり518.3人

[世帯数] 16,778世帯

⊚市内農家数

[総農家数] 1,495戸

[販売農家数] 965戸

[自給的農家数] 530戸

⊚特徴

北部 梨+水稲 / 養豚+水稲 / 野菜+水稲

南部

BR ® の確立に伴い高機能農業機械による

水稲を主とした麦・大豆の生産

※南西部の畑地帯では露地・施設園芸 ション

◎下妻市の耕地面積:4,000ha

下妻市認定農業者への集積率51.5%担い手への集積率(市外含む)63.3%

⊙市内認定農業者:総数 264人

主となる経営	人数	平均年齢
水稲	162	63.5
果樹(梨、ブドウ、柿等)	47	58.9
園芸(野菜、メロン、イチゴ 等)	31	53.0
畜産(養豚、牛、採卵鶏等)	24	61.8
全体	264	61.3



下妻市



テーマ3: 下妻で暮らすライフスタイル

茨城県下妻市



◆約80ha(砂沼の湖水面積を含む)の広々とした公園

◆遊歩道は約6km

◆敷地内には約50種類・350本の桜が植えられている

【筑波サーキット】

▼1970年(昭和45年) 開設 ▼首都圏に最も近いサーキット・メインコースは全長約2,000mの大小の複雑なコーナーで結ぶ、

日本でも有数のテクニカルなレイアウト。

レースだけでなく、マイカーでの体験走行会なども開催。その他、 親子ミニバイク教室なども実施。



下妻市

営農定着を支援

- ◆経営を安定させるため、販路開拓や確保の支援や情報提供を実施 JA常総ひかりによる共販事業、市内直売所の出荷組合を紹介。
- ◆就農後も一定期間、技術や経営管理についての指導や相談を継続下妻市農政課、JA常総ひかり、筑西地域農業改良普及センターが連携してサポート。
- ◆地元農家や若手農業者との交流促進の場を設ける等、地域に定着 するための支援を実施

青年農業者が組織する4Hクラブ「ALC21」、新規就農者グループ「CLST」を紹介。



下妻市のHP「住マイルしもつま」で下妻市の魅力を発信しています。 ぜひ、ご覧ください。

https://www.city.shimotsuma.lg.jp/page/dir002145.html

下妻次世代農業CLST(クラスタ)

- ・新規就農した若手農業者によるSNSでの情報発信
- ・下妻CLST(公式)@SHIMOTSUMA_CLST で検索



若手農業者による作業の様子



下妻CLSTのツイッターによる情報発信

テーマ5:新規就農者への支援

下妻市

経営開始資金

- ・新たに農業経営を開始する方に対し、最大で150万円 ×3年間=450万円を支援。
- ・経営開始時に原則44歳以下(条件により49歳以下) の認定新規就農者で、前年の世帯(親子及び配偶者の 範囲)所得が原則600万円未満の方が対象。
 - ※その他概要要件あり
- ・年間150万円(最長3年間)

農機シェアリングサービス事業

- ・株式会社クボタと連携協定を締結し、トラクタのシェ アリングサービス事業を支援。
- ・下妻市内在住者が下妻市内の農地でトラクタのシェア リングサービスを使用する場合、1時間当たりの利用 料金を4,400円から2,200円に減額支援。

農地の紹介

- ・下妻市農政課、下妻市農業委員会、農地中間管理機構 が連携して農地を紹介。
- ・貸付希望農地一覧のHP公開(市農業委員会)。

就農の相談

随時、下妻市農政課でお受けしています。 お気軽にご相談ください!



農機シェアリングサービスを使った作業の様子



(公益社団法人)茨城県農林振興公社HPより